



あんずっこ通信〈5月号〉

令和8年5月 更埴子育て支援センター



新緑がまぶしい季節になり、鳥のさえずりも楽しく聞こえてきます。あちらこちらで季節の移り変わりを感じることができます。思いきり体を動かして、たくさん見たり聞いたり感じたりする体験をさせてあげたいですね。支援センターでも砂場や車で遊ぶことができますのでぜひ遊びに来てくださいね。



イヤイヤ期が始まったら…

今まではママとの一体感から何でも理解されてきましたが、自我が芽生えると自分自身の意思や感情がはっきりしてきます。大人としては言うことを聞かなくなった、「扱いにくくなった子」と困った姿として見てしまいがちですが自己主張をするようになってきたことを大切に認めていきたいものです。まずは、イヤイヤを受け止め、頭から否定しないで、なぜイヤなのかを理解しましょう。例えば、「ごはんまだ食べたくないんだね。パズルがやりたいんだね。」といった具合に子どもの気持ちを代わりに言葉で表現してあげましょう。その上で、「お母さんは時間が遅くなっちゃうから、食べてほしいな。これだけやったら食べようね。」と親の考えを伝えます。子どもは要求が通らなくてもひとりの人間として尊重されている、気持ちがわかってもらえている、などが伝われば我慢ができるようになっていきます。自己主張や長泣きはわがままではなく、混乱しているだけなので、「困っているのね。どうしていいかわからなくなってしまったのね。」と思いやりながら、大人が待つてあげれば、気持ちが収まりまわりの状況が見られるようになります。折り合いをつけるとは=会話をすること、のはじまりです。親の考えをちゃんと伝えていくことで、人の気持ちを大切にしよう、という心も育っていきます。

月間図書のお知らせ

年間を通じて色々な絵本が届く月間図書の申し込みを受け付けています。また、年間購読だけでなく、読んでみたい本1冊からの注文もできます。見本やカタログが支援ルームの棚においてありますので、ご希望の方はスタッフにお声がけ下さい。

《お問い合わせ》

千曲市更埴子育て支援センター

TEL 026-273-6180

FAX 026-273-6182

Eメール kosodate-sc@city.chikuma.lg.jp